

学校だより



〒098-2501
北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1
電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838
e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.otoineppu-h.ed.jp/

「コロナ禍の中にあっても」

校長 松田圭右

例年に無い長雨に続き、史上最大級の台風の到来と、日本各地で災害による痛ましい被害が報道されておりましたが、皆様方のご無事でしたでしょうか。被災により大変なご苦労をされている皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、都市部においてのコロナ禍の第二波の状況、心安まらざる日々お送りのことと存じます。

本校においても、「新しい生活様式」を守るなど不自由な中、生徒達は元気に学校生活を送っております。

さて、校庭の桜の木も紅葉がはじまり、気がつけば季節は秋を迎えておりますが、去る9月14日、「高文連美術道北支部審査会」が本校にて開催されました。三密を避けるため生徒不在の大会となりましたが、本校からは美術部、工芸部合わせて56作品を出展しました。全道大会も審査のみではありますが、入選20佳作23が選ばれました。来年度の総文祭（全国大会）作品が選ばれることを大いに期待しております。

また、来る10月24日、本校70周年を祝して記念式典を開催いたします。同窓会、PTA、村民の方々により協賛会を設立頂き準備を進めて参りました。現在の状況により、多くの同窓生の方々をお招きすることが叶いませんが、現生徒、教職員の他、来賓の方々、協賛会役員を中心に実施する予定です。80周年に向けて精一杯の行事として参ります。そして、ご支援頂きました皆様に厚く感謝申し上げます。

最後になりましたが、前期を終えるようとする今、3年生は自己の進路目標に向かい追い込みの時期を迎えております。2年生は具体的な進路について考える大事な時期かと思っております。また、1年生は人生を左右するコース選択が目前に迫って参りました。保護者の皆様におかれましては、生徒のへ応援、そして、生徒との相談、話し合いをどうぞ宜しくお願い致します。

子どもたちはたくましい存在

教務部長 森下 瑛仁

コロナ禍における臨時休校から学校が再開してから3ヶ月が経ちました。子どもたちは現在、前向きに日々の学習、生活そして人間関係作りを経験しています。その姿勢からは、彼らが着実に大人への階段を上っていると感じさせてくれます。後期からは感染防止に努めながら、学校行事を再開させていきます。10月実施の学校祭は規模の縮小を余儀なくされましたが、それでも他校と比較し実施できること自体が貴重な機会ですし、子どもたちの劇をみることで、そしてその制作過程を楽しみにしています。

私の大抵の日課は、授業をだいたい1日2コマ。そして15:30~17:30までの放課後の間に授業での再テスト、大学希望者への進学の内容で、1日に1・2コマ分ほどやります。英検前の時期は英検講習をしたり、考査前の時期は補習をしたりもします。

担当の授業数とほぼ同じ時間を授業外での学習指導にあてているのは、やはり少人数や習熟度別の指導が一定の効果を上げることと、そしてなにより生徒のなかで、「自分だけではない、一緒に頑張れる」と共感をしたりその中で関係性が構築できたりすることが大切だからだと思っています。

コロナ禍において学校教育はこれから、質的な面の変化を迎えることになると思います。物質的な、そしてデジタルな支援だけでなく、すべての子どもへ直接的なかかわりができる支援が大切だなど、教務部長として考えているところです。

それでは、後期もよろしくお願いたします。

苦しいときこそ笑顔！！

生徒指導部長 棚橋 栄治

今年はコロナウイルスの出現によって医療現場だけでなく、教育や福祉の現場、そして様々な産業活動、流通や経済が滞り、遂には東京オリンピック・パラリンピックの1年延期と、瞬く間に世界中が混乱の渦に飲み込まれ、健康や安全に対する世界規模での意識改革を迫られることになりました。本校でも新学期早々からおよそ一カ月半に渡る休校が続き、3年生の見学

旅行や1年生の宿泊研修などの学校行事、新入寮生歓迎会などの寮行事の中止が相次ぎました。

学校再開後も教室での授業中は、生徒も教師もマスクを着用し、寮の食堂ではテーブルの上にアクリルの衝立が設置され、向かい合ったり隣合ったりする仲間と会話をしながら、楽しく食事をする時間さえも奪われてしまいました。

しかし、そんな中であって、みんなと出会う度、すれ違う度にマスクから聞こえてくる挨拶が何よりも嬉しい。そして時としてマスクからあふれ出てくる笑顔が、何よりも素晴らしい。

今できることを考える力

進路指導部長 角南 友繁

今年度は、大学入試改革やコロナウイルスの影響により、進学・就職ともに例年とは異なるスケジュールで進路活動が進んでいます。そうした中でも、3年生は、それぞれの進路実現に向け懸命に取り組んでいます。

本校は、美術系の大学や専門学校に進学する生徒が多く、ポートフォリオや持参作品の制作にも熱心に取り組んでいます。それに加え、今年度はオンラインで面接試験を実施する学校もあり、様々な対応を行っています。今後も、それぞれの受験先や受験方法によって対策を進めていく必要があります。必要な情報の収集や指導を行いたいと考えていますが、ご家庭でもご確認をお願いしたいと思います。

それぞれが希望する進路を実現するために、今自分にできることは何なのかをしっかりと考え、一つ一つ行動に移してほしいと思います。

できごと

《寮レク(1年生)》

9月5日(土)に、1年生が寮レクを行いました。本来なら宿泊研修の時に研修予定だった西興部村にある森の美術館「木夢」で木の遊園地やおもちゃやなどで遊びました。その後、名寄のイオンで買い物をして帰ってきました。初めてのバスを使っの学年行事。楽しい時間を過ごしました。



《強歩記録会》

晴天の中、アップダウンのきつい4kmのコースで記録会を実施しました。全校生徒での活動は今年度初めてでした。途中苦しくなりペースが落ちる生徒もいましたが、全員怪我なくゴールすることができました。



行事

- 10月16日 学校祭
- 24日 70周年記念式典
- 26日 振替休日
- 31日 一日体験入学
- 11月2日 振替休日
- 5日 地区別懇談会(音威子府)
- 7日 地区別懇談会(札幌)
- 8日 地区別懇談会(旭川)
- 18日 後期中間考査 ~20日
- 26日 デザインスクール(2年生 本校)
- 12月未定 体育祭、センター試験プレテスト
- 14日 デザインスクール(2年生 本校)
- 24日 大掃除・全校集会
- 25日 帰省日・冬季休業~1/11

**子ども種痘支援センター
種痘窓口のお知らせ**

いじめや登校、休校などの学習・生活に関する悩み、子育て・シニアなど
家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談
0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談
(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)
子ども種痘支援センター
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で予約ください。

センターのWebページに「子ども種痘支援センターへの種痘案内」を掲載しています。次のURLからご覧ください。
URL <http://www.dokyoie.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>